

# 日興 AM シンガポール・ドル建て投資適格社債 ETF (NIKO)

SGXは債券市場でアジア最大規模、社債発行に有利な補助金スキームの存在、自国通貨価値維持を重視の金融政策  
 シンガポール市場 | グローバル社債 | ETF

フィリップ証券株式会社  
 (PXR-0005)

BLOOMBERG NIKIGCB:SP | REUTERS NIKO.SI

- 同ETFは主としてシンガポールドル (SGD) 建て投資適格社債 (BBBマイナス格以上) に投資。中長期的に国債より高いリターンが期待される。
- シンガポールは社債の上場が一般的でSGXは債券市場先としてアジア最大。様々な補助金スキームで魅力的な社債発行が促進されている。
- SGDは通貨バスケットを用いた管理変動制。自国通貨購買力と貯蓄価値維持のために通貨の持続的安定を重視と海外から投資しやすい環境だ。

## 同ETFについて

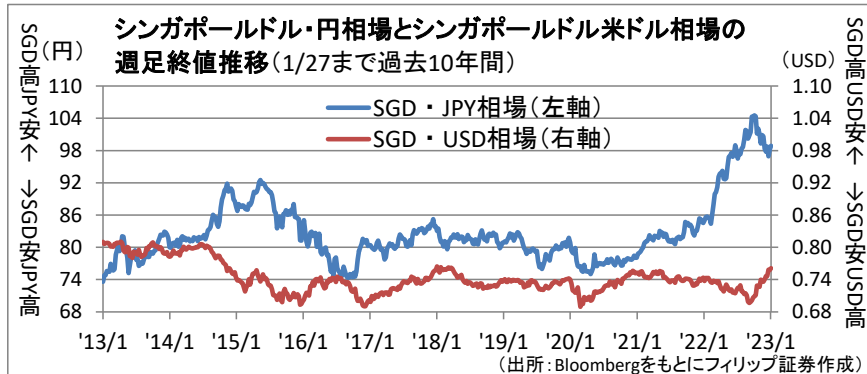
同ETFは主としてシンガポールドル (SGD) 建て投資適格社債 (BBBマイナス格以上) に投資し、社債の発行体の大部分はシンガポールの政府系企業や民間企業である。2022年9月末現在、平均格付けA格で加重平均最終利回り4.35%。同じ委託会社の運用でシンガポール国債に投資する「ABFシンガポール・ボンド・インデックス・ファンド」の加重平均利回り3.58%と比較しても高く、中長期的にシンガポール国債より高いリターンが期待される。

## シンガポールの社債市場について

シンガポールでは日本と異なり社債が取引所に上場されるのが一般的であり、シンガポール取引所 (SGX) は債券の上場先としてアジア最大規模を誇る。金融規制当局であるシンガポール通貨庁 (MAS) は社債発行を促進するために相次いで様々な補助金制度を打ち出している。2017年～2019年まで実施された「アジア債券補助金スキーム」に続き、2020年以降は発行体や社債の対象範囲を拡大に加え、補助金の上限額引き上げなど大幅に拡充したうえで「グローバル・アジア債券補助金スキーム」が実施された。また、社債の格付け付与促進を図って投資家層の裾野拡大に繋げるために「SGD信用格付け補助金スキーム」が2017年に導入された。これらの補助金スキームは、シンガポール企業を中心とした社債に投資するSGX上場ETFの投資価値向上に貢献しているとみられる。

## シンガポールドルの見直し

SGDは通貨バスケットを用いた管理変動制であり、MASによる金融政策はSGD相場を調整することを通じて行われている。過去には2008年の国際金融危機後に景気後退を警戒して通貨安誘導を行ったことがあったが、基本的には自国通貨の購買力と労働者が持つ貯蓄の価値を維持することを重視している。過去10年の対円、対米ドル相場でも通貨価値が持続的に安定していることが窺われ、海外から投資しやすい環境と言えよう。



終値 (SGD) **0.924** 2023/1/30

## ファンドの概要

同ファンドの運用目的は、iBoxx SGD Non-Sovereigns Large Cap Investment Grade Index、または運用会社が受託者および受益者に3か月前の事前通知を書面で提供する場合、シンガポール国債を除くシンガポールドル建て投資適格債に連動するその他のインデックスに可能な限り連動する運用成果 (報酬・費用等控除前) を達成することにある。

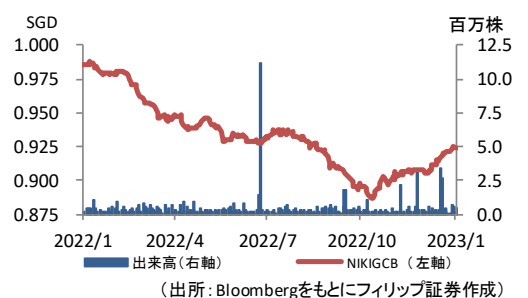
## 基本情報 (2023/1/30)

名称	日興AM シンガポール・ドル建て投資適格社債ETF (Nikko AM SGD Investment Grade Corporate Bond ETF)
主要投資対象	シンガポールドル建ての投資適格社債
ベンチマーク	iBoxx SGD Non-Sovereigns Large Cap Investment Grade
総経費率※	年率0.25% (上限 年率0.30%)
取引頻度	日次
分配頻度	年2回 (分配金の支払いは保証されておらず、委託会社の裁量で決定される。)
年度末日	6月30日
運用会社	日興アセットマネジメント・アジア・リミテッド
受託会社	DBS Trustee Limited

※ 総経費率とは、委託会社報酬や受託会社報酬に加えて、その他の諸経費を全て含めた費用である。

## ファンドデータ (2023/1/30)

時価総額 (百万SGD)	524.3
総資産 (百万SGD)	513.5
NAV (倍)	0.92



## リサーチ部

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

## 分配金推移

※参考レート 1SGD=99.23円

分配金権利落ち月	2021/1	2021/7	2022/1	2022/7	2023/1
1単位当たりグロス分配金 (SGD)	0.0288	0.0145	0.0137	0.0135	0.0145

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。